

島根ぶどうの新しい顔「シャインマスカット」の出荷が間近

島根県産「シャインマスカット」の出荷が間もなく始まります。初出荷日は7月16日(15日収穫)を予定しており、9月中旬頃まで県内外の百貨店や量販店などへ出回ります。

「シャインマスカット」は、平成18年に品種登録されたブドウの新品種で、マスカットの香りを持ち、大粒で食味が優れ、皮ごと食べられることから、全国的にも注目されています。県内では約8haの栽培が行われており、今年は3tの出荷を見込んでいます。

島根ぶどうの主力品種である「デラウェア」との複合栽培により、生産者の所得向上を図ることができる品種としても期待されています。

平成25年に200tの生産を目標に掲げ関係機関・団体が一体となって振興に取り組んでいます。

<育種>

- 独立行政法人農業食品産業技術総合研究機構果樹研究所育成
- 「安芸津21号」(スチューベン×マスカット・オブ・アレキサンドリア)と「白南」(カッタクルガン×甲斐路)の交配種
- 平成15年命名登録(ぶどう農林21号)、平成18年品種登録

<果実の特性>

- 房は600～800gで、果粒は11～13gになる
- 果皮は黄緑色で薄い。洗みがないため皮ごと食べられる。
- 糖度は18～20度。酸味が少ないため甘みが際だつ。マスカット香を有す。
- 成熟期は県内平野部の雨よけ栽培で9月上旬。

<県内の産地>

出雲市：5ha、益田市：1ha、安来市：0.5ha、雲南市：0.5ha 他

<問い合わせ先>

県農林水産部農畜産振興課 0852-22-5126

全農島根県本部 農産課 0853-73-9528

